

東海市データヘルス計画の取組状況について

1. 特定健康診査・特定健診未受診者対策

目的及び概要						対象者			
						年齢	資格		
【目的】受診率の向上による、メタボに着目した生活習慣病の発症や重症化予防 【概要】40～74歳の被保険者に対し、市内医療機関で個別健診を実施。						40～74歳	被保険者		
【目的】受診率の向上による被保険者の健康保持増進 【概要】受診勧奨通知、及び40～49歳の方には電話勧奨、インセンティブの実施。						40～74歳	前年度未受診かつ通知発送日時点で把握の未受診者		
実施内容									
2018年度～2022年度			実施時期	実施場所		2023年度			
・市内医療機関にて個別方式での受診促進 ・未受診者へアンケート実施に向けた検討 ・がん検診と連動した受診率の向上(がん検診と同時受診できる医療機関の情報提供等) ・国保新規加入者へ、国保課窓口で受診案内チラシを配布			6～10月、2月	市内医療機関 国保課窓口		・市内医療機関にて個別方式での受診促進 ・がん検診と連動した受診率の向上(がん検診と同時受診できる医療機関の情報提供等) ・国保新規加入者へ、国保課窓口で受診案内チラシを配布 ※回収率の低くなる未受診者アンケートは実施せず、未受診者再通知ハガキの拡充を行った。			
①40～74歳の未受診者へ再通知ハガキを送付 ②壮年期の未受診者へ電話勧奨を実施 ③インセンティブの実施。			①② 1月 ③ 12月	—		①40～74歳の未受診者へ再通知ハガキを送付 ②壮年期の未受診者へ電話勧奨を実施 ※③インセンティブは他市町村の効果の低さから実施せず、①の再通知ハガキをナッジ理論を活用したものに拡充した。			
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	最終目標	達成度
実績/アウトプット目標	受診勧奨者の受診率	7.3%(617人/8,485人)	6.9%(516人/7,441人)	13.1%(1,143人/8,708人) ※	9.3%(705人/7,612人)	11.2%(774人/6,880人)	13.5%(892人/6,627人)	受診勧奨者の受診率30%	未達だが向上
	40～45歳の未受診者への電話勧奨	484人	479人	211人	218人	94人	93人		
アウトカム	特定健診受診率	48.6%	48.7%	47.6%	46.3%	50.9%	51.7%	特定健診受診率60%	
	過去5年間で一度も受診していない者	3,482人	3,730人	3,626人	3,598人	3,293人	3,368人		

※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年と実施期間が違うもの

特定健診受診率（東海市）

年度	受診率
2018	48.6%
2019	48.7%
2020	47.6%
2021	46.3%
2022	50.9%
2023	51.7%

愛知県内特定健診受診率（令和5年度）

考評	今後の取り組みの方向性
受診率は目標には届いていないが、受診勧奨後の受診率はコロナ禍で下降していた分を取り戻し、健診受診率は向上していることから、啓発等の効果は出ていると考えられる。	現在の取り組みに加え、若い世代にも届きやすい市公式LINEや母子モ（母子アプリ）等による啓発を追加し、より健診受診勧奨に触れる機会を増やして受診率向上につなげていく。

2. 特定保健指導

目的及び概要						対象者																	
						年齢	資格																
【目的】 特定保健指導対象者の、生活習慣改善の行動変容による健康状態改善 【概要】 特定健診の結果により、積極的・動機付け支援に分けて保健指導を実施。未利用者には電話・訪問による保健指導を実施。						40～74歳	特定保健指導基準該当者																
						実施内容																	
2018年度～2022年度				実施時期		実施場所		2023年度															
・わかりやすい情報提供(レーダーチャートの活用) ・結果返却時に初回面接実施 ・市内二会場での面接、訪問実施 ・初回に食生活・運動応援メニューを提供 ・運動ステーションの回数券発行 ・インセンティブ内容の検討				7月から		しあわせ村 市民体育館		・わかりやすい情報提供(レーダーチャートの活用) ・結果返却時に初回面接実施(一部の医療機関では健診当日に初回面接を実施) ・市内二会場での面接、訪問実施 ・初回に食生活・運動応援メニューを提供 ・運動ステーションの回数券発行 ・未利用者勧奨としてオンライン面接を案内、希望者はオンラインにて保健指導を実施															
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	最終目標	達成度														
実績/アウトプット目標	初回面接利用者数	373人 対象者：864人	327人 対象者：743人	344人 対象者：736人	297人 対象者：698人	289人 対象者：678人	284人 対象者：654人	初回面接利用者：600人	横ばい														
アウトカム	特定保健指導の利用率	43.2%	44.0%	46.7%	42.6%	42.6%	43.4%	特定保健指導の利用率：60%(達成見込み)															
特定保健指導 利用率 <table><thead><tr><th>年度</th><th>利用率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2018</td><td>43.2%</td></tr><tr><td>2019</td><td>44.0%</td></tr><tr><td>2020</td><td>46.7%</td></tr><tr><td>2021</td><td>42.6%</td></tr><tr><td>2022</td><td>42.6%</td></tr><tr><td>2023</td><td>43.4%</td></tr></tbody></table>										年度	利用率 (%)	2018	43.2%	2019	44.0%	2020	46.7%	2021	42.6%	2022	42.6%	2023	43.4%
年度	利用率 (%)																						
2018	43.2%																						
2019	44.0%																						
2020	46.7%																						
2021	42.6%																						
2022	42.6%																						
2023	43.4%																						
考評					今後の取り組みの方向性																		
横ばいで推移している。2023年度から未利用者勧奨としてICTを活用したオンライン面接を開始した。オンライン面接の利用者は想定より少なかったが、様々なニーズに合わせた保健指導の実施が必要である。					来所型の面接に加え、オンライン面接や初回面接を特定健診当日に医療機関で実施するなど、保健指導の実施体制を充実し、利用しやすい環境整備が必要である。																		

3. 糖尿病性腎症重症化予防

目的及び概要						対象者																	
						年齢	資格																
【目的】糖尿病・腎臓病の重症化予防・受診勧奨、保健指導 【概要】対象者へ講演会、保健指導等の実施。かかりつけ医へ指導内容を報告し、医療機関での保健指導と連携した取組みとする。未受診者等へは電話等で支援を実施。						40～74歳	HbA1c6.5以上または空腹時血糖126以上の者																
実施内容																							
2018年度～2022年度				実施時期	実施場所	2023年度																	
・対象者を講演会への参加者、不参加者、保健指導参加者、未受診者に分け、保健師及び栄養士が保健指導を実施。 ・保健指導についてはかかりつけ医との連携を取りながら実施。 ・保健指導参加者は翌年以降も継続して糖尿病管理状況を把握する。				通年	しあわせ村 あいち健康プラザ (2018年度のみ) 市内医療機関等	・糖尿病予防講演会 1回 ・保健指導プログラム かかりつけ医との連携を基にした食事・運動等を中心とした半年間の伴走支援及びその半年後のフォロー相談（腎症病期の確認）を行う。プログラムは、半田市医師会健康管理センターに委託。																	
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	最終目標	達成度														
実績/アウトプット目標	糖尿病重症化予防講演会の実施参加者	年1回実施参加者：90人/1,008人	年1回実施参加者：85人/926人	未実施	未実施	年1回実施参加者：123人/908人	年1回実施参加者：83人/939人	糖尿病重症化予防講演会の実施年1回、参加者：80人	横ばい														
	保健指導の参加者	28人	19人	19人	14人	10人	13人	保健指導の参加者：30人															
アウトカム	新規透析患者のうち糖尿病性腎症の割合	33.3% (2人／6人)	45.5% (5人／11人)	27.3% (3人／11人)	62.5% (5人／8人)	23.5% (4人/17人)	53.8% (7人/13人)	新規透析患者のうち糖尿病性腎症の割合：30%															
新規透析患者のうち 糖尿病性腎症者の割合 <table><thead><tr><th>年度</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>2018</td><td>33.3%</td></tr><tr><td>2019</td><td>45.5%</td></tr><tr><td>2020</td><td>27.3%</td></tr><tr><td>2021</td><td>62.5%</td></tr><tr><td>2022</td><td>23.5%</td></tr><tr><td>2023</td><td>53.8%</td></tr></tbody></table>										年度	割合	2018	33.3%	2019	45.5%	2020	27.3%	2021	62.5%	2022	23.5%	2023	53.8%
年度	割合																						
2018	33.3%																						
2019	45.5%																						
2020	27.3%																						
2021	62.5%																						
2022	23.5%																						
2023	53.8%																						
考評				今後の取り組みの方向性																			
保健指導プログラムの参加者が年々減少しているため、過去の参加者も対象とし実施した。しかし、参加者のすべてが65歳以上と高齢者であり、若い年代に早期から介入することが難しい状況である。				若い年代に対し、保健指導プログラムの受講に至らなくても、腎症の重症化を啓発する必要がある。																			

4. 高血糖・高血圧の重症化予防受診勧奨通知

目的及び概要						対象者			
						年齢	資格		
【目的】糖尿病・高血圧の受診勧奨値でも未受診の方に対し、受診勧奨を行い、医学的管理の下、重症化を防ぐ。 【概要】特定健診受診時に医療受診がなく、糖尿病・高血圧について受診勧奨値であった方の医療レセプトを確認し、未受診の場合、受診勧奨通知を送付し、受診結果を報告してもらう。						40～74歳	HbA1c6.5以上または空腹時血糖126以上の者、または血圧Ⅱ度以上の者		
実施内容									
2018年度～2022年度				実施時期	実施場所	2023年度			
・健診終了後、医療受診状況を確認し、未受診の場合は受診勧奨通知を送付し、受診へつなげる。 ・通知後、受診報告及び医療レセプトを確認する。40歳代の未受診者にはさらに電話等による受診勧奨を行う。				1月	-	継続実施			
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	最終目標	達成度
実績/アウトプット目標	糖尿病・高血圧受診勧奨レベル者のうち受診勧奨者	344人	339人	203人	221人	157人	128人	80人	横ばい
アウトカム	糖尿病・高血圧受診勧奨レベル者のうち未受診者	824人/7,410人	878人/7,598人	852人/7,155人	771人/7,179人	761人/7,086人	674/6,684人	700人	

糖尿病・高血圧受診勧奨レベル未受診者

年度	人数
2018	824人
2021	771人
2022	761人
2023	674人

考評		今後の取り組みの方向性	
例年、対象者の約1割が未受診者（未治療者）である。一方で、受診結果から受診勧奨する者の数は減少傾向にあるため、今後も動向をモニタリングする必要がある。		引き続き、手紙による勧奨を行うとともに、40歳代には電話による受診勧奨を行う。	

5. がん検診

目的及び概要					対象者				
					年齢	資格			
【目的】がんの早期発見・治療へつなげる 【概要】市内医療機関および子宮・胃は集団検診も実施。					住民登録のある対象年齢の者	子宮20歳以上 乳30歳以上 胃・大腸40歳以上 前立腺50歳以上			
						実施内容			
2018年度～2022年度			実施時期	実施場所	2023年度				
・国保課窓口で新規加入者へ受診案内を配布 ・特定健診と連動した受診率の向上(特定健診と同時受診できる医療機関の情報提供等)			6月から2月	市内医療機関	継続実施				
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	最終目標	達成度
実績/アウトプット目標	広報、ホームページ掲載、乳幼児健診で啓発	-	-	-	-	-	-	広報、ホームページ掲載、乳幼児健診で啓発	横ばい
	胃・肺・大腸・子宮・乳がんの平均受診率	11.5%	10.7%	9.6%	10.0%	9.8%	9.5%	胃・肺・大腸・子宮・乳がんの平均受診率：15.0%	
アウトカム	胃	4.2%	3.6%	3.1%	3.2%	3.2%	2.9%		
	肺	14.8%	14.4%	14.5%	13.8%	13.3%	12.8%		
	大腸	13.6%	13.1%	12.2%	12.4%	12.2%	11.9%		
	子宮	12.8%	10.6%	8.7%	9.7%	9.5%	9.4%		
	乳	11.9%	12.0%	9.5%	11.1%	10.9%	10.7%		

各種がんの平均受診率

年	胃	肺	大腸	子宮	乳がん	がん検診の平均受診率
2018	4.2%	14.8%	13.6%	12.8%	11.9%	11.5%
2019	3.6%	14.4%	13.1%	10.6%	12.0%	10.7%
2020	3.1%	14.5%	12.2%	8.7%	9.5%	9.6%
2021	3.2%	13.8%	12.4%	9.7%	11.1%	10.0%
2022	3.2%	13.3%	12.2%	9.5%	10.9%	9.8%
2023	2.9%	12.8%	11.9%	9.4%	10.7%	9.5%

考評	今後の取り組みの方向性
全てのがん検診ともに受診率は低く、経年でみてもほぼ横ばいであり、目標値の15%は達成できなかった。	一番受診率の低い胃がん検診においては、R6年度から胃内視鏡検査を導入するため、受診率の動向をみながら、受診勧奨方法や啓発方法等見直していきたい。

6. 重複・頻回受診者対策

目的及び概要					対象者			
					年齢	資格		
【目的】 不適正受診の減少による医療費削減 【概要】 医療機関等の適正受診について、周知・啓発を行う他、重複受診者・重複服薬者を適正受診につなげる。					40～74歳	各基準該当者		
実施内容								
2018年度～2022年度		実施時期	実施場所		2023年度			
重複・頻回受診者を把握し、適切な受診をサポートするため、健康相談事業の案内等を実施。		具体的な事業内容の検討の際に合わせて検討します。	具体的な事業内容の検討の際に合わせて検討します。		・国保連合会の保健事業を活用し事業実施 ・2022年度から愛知県の「保険調剤薬局による健康相談モデル事業」に参加し、服薬指導対象者に対して、健康相談の案内を送付している。			
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	最終目標	達成度
実績/アウトプット目標	-	重複・頻回・重複投薬受診者に訪問指導を実施	重複・頻回・重複投薬受診者に訪問指導を実施	重複・頻回・重複投薬受診者に訪問指導を実施	重複・頻回・重複投薬受診者に訪問指導を実施	重複・頻回・重複投薬受診者に訪問指導を実施	重複・頻回・重複投薬受診者に訪問指導を実施	比較不可
アウトカム	-	訪問指導者を適正受診に指導する	訪問指導者を適正受診に指導する	訪問指導者を適正受診に指導する	訪問指導者を適正受診に指導する	訪問指導者を適正受診に指導する	訪問指導者を適正受診に指導する	
考評					今後の取り組みの方向性			
訪問指導に関しては、重複頻回受診者に対して十分な保健指導を実施することができた。 訪問指導とは別に一昨年から愛知県のモデル事業に参加し、26名の服薬指導対象者に適正服薬に関する通知や健康相談の案内を送付した。					訪問指導に関しては、より対象者を増やすために、抽出条件を変更するなど、対面で保健指導できるよう工夫していく。 今後も愛知県のモデル事業に参加し、服薬適正化に努める。			

7. 医療費通知

目的及び概要						対象者																								
						年齢	資格																							
【目的】医療機関の請求ミス等の防止による医療費の適正化						～74歳	医療受診者																							
【概要】受診した医療機関等のお知らせ																														
実施内容																														
2018年度～2022年度				実施時期	実施場所	2023年度																								
年6回（4月・6月・8月・10月・12月・2月）に通知ハガキを送付				年6回（4月・6月・8月・10月・12月・2月）	—	継続実施																								
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	最終目標	達成度																					
実績/アウトプット目標	医療費通知実施回数	年6回実施	年6回実施	年6回実施	年6回実施	年6回実施	年6回実施	年6回実施	悪化																					
アウトカム	東海市	332,253円	352,973円	347,760円	375,417円	392,806円	421,940円	被保険者一人あたりの年間医療費を県平均以下にする。																						
	県平均	333,321円	345,126円	337,458円	362,949円	373,435円	393,592円																							
被保険者一人あたりの年間医療費 ■東海市 ■愛知県 <table><thead><tr><th>年度</th><th>東海市 (円)</th><th>愛知県 (円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2018</td><td>332,253</td><td>333,321</td></tr><tr><td>2019</td><td>352,973</td><td>345,126</td></tr><tr><td>2020</td><td>347,760</td><td>337,458</td></tr><tr><td>2021</td><td>375,417</td><td>362,949</td></tr><tr><td>2022</td><td>392,806</td><td>373,435</td></tr><tr><td>2023</td><td>421,940</td><td>393,592</td></tr></tbody></table>										年度	東海市 (円)	愛知県 (円)	2018	332,253	333,321	2019	352,973	345,126	2020	347,760	337,458	2021	375,417	362,949	2022	392,806	373,435	2023	421,940	393,592
年度	東海市 (円)	愛知県 (円)																												
2018	332,253	333,321																												
2019	352,973	345,126																												
2020	347,760	337,458																												
2021	375,417	362,949																												
2022	392,806	373,435																												
2023	421,940	393,592																												
考評					今後の取り組みの方向性																									
2019年度以降、被保険者の一人あたり年間医療費が県平均よりも高くなっている。また、新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えがあったと考えられる2020年度を除き、増加傾向にあり、2018年度と比較すると、東海市の年間医療費は89,687円（26.99%）増となっており、県平均よりも高い水準で推移している。					引き続き医療費通知の送付を継続し、医療費の適正化に努める。また、診療報酬の不正請求防止について、医療費通知以外の方法による受診医療機関の確認が可能となっていることを踏まえ、医療費通知の送付回数や周知広報すべき事項等の見直しを行い、適切な事業実施に努める。																									

8. ジェネリック医薬品の差額通知

目的及び概要						対象者																	
						年齢	資格																
【目的】 医薬品・調剤料自己負担の軽減、医療費削減 【概要】 先発医薬品からジェネリック医薬品に切り替えた際の自己負担額の差額を通知						～74歳	各基準該当者																
実施内容																							
2018年度～2022年度				実施時期	実施場所	2023年度																	
年4回通知ハガキを送付				年4回	—	継続実施																	
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	最終目標	達成度														
実績/アウトプット目標	実施回数	本人薬剤費削減額が100円以上になる方に年4回（6月・7月・11月2回）合計で2,085通送付	本人薬剤費削減額が100円以上になる方に年4回（6月・7月・10月・11月）合計で1,584通送付	本人薬剤費削減額が100円以上になる方に年4回（6月・7月・10月・11月）合計で1,760通送付	本人薬剤費削減額が100円以上になる方に年4回（6月・7月・10月・翌年2月）合計で1,439通送付	本人薬剤費削減額が100円以上になる方に年5回（6月・7月・10月・11月・翌年2月）合計で1,496通送付	本人薬剤費削減額が100円以上になる方に年5回（6月・7月・10月・11月・翌年2月）合計で1,130通送付	年4回実施	改善														
アウトカム	ジェネリック医薬品普及率	79.83%	82.41%	84.66%	87.60%	85.79%	85.93%	ジェネリック医薬品普及率：80%															
ジェネリック医薬品普及率 <table><thead><tr><th>年度</th><th>普及率</th></tr></thead><tbody><tr><td>2018</td><td>79.83%</td></tr><tr><td>2019</td><td>82.41%</td></tr><tr><td>2020</td><td>84.66%</td></tr><tr><td>2021</td><td>87.60%</td></tr><tr><td>2022</td><td>85.79%</td></tr><tr><td>2023</td><td>85.93%</td></tr></tbody></table>										年度	普及率	2018	79.83%	2019	82.41%	2020	84.66%	2021	87.60%	2022	85.79%	2023	85.93%
年度	普及率																						
2018	79.83%																						
2019	82.41%																						
2020	84.66%																						
2021	87.60%																						
2022	85.79%																						
2023	85.93%																						
考評				今後の取り組みの方向性																			
ジェネリック医薬品普及率については2018年度と比較して6%以上向上し、最終目標の目標値を達成できている。				普及率の向上のために引き続き事業を継続する一方で、後発医薬品に係る制度の変更等を踏まえ、適切な普及啓発活動についての検討を行う。																			

9. 普及啓発活動

目的及び概要						対象者																	
						年齢	資格																
【目的】生活習慣病や健診の情報提供による健診受診率の向上 【概要】対象者への啓発及び市民への健診受診による健康管理の意識付けのための各種事業を実施						①40歳到達者 ②40～74歳 ③全市民	国保新規加入者																
						実施内容																	
2018年度～2022年度			実施時期	実施場所		2023年度																	
①保健なんでも相談の開催回数増 ②40歳到達者への健診通知に啓発チラシを同封 ③国保加入時に窓口で啓発チラシを配布 ④広報とうかいに啓発記事を掲載 ⑤イベントや健康教育の場で保健師による健康教育等での啓発 ⑥実施医療機関等でポスター掲示、のぼり等の啓発資材活用の検討 ⑦乳幼児健診通知へ各種健(検)診受診案内を同封して啓発			通年	しあわせ村 国保課窓口 市内医療機関		①保健なんでも相談の開催回数増 ②40歳到達者への健診通知に啓発チラシを同封 ③国保加入時に窓口で啓発チラシを配布 ④広報とうかいに啓発記事を掲載 ⑤イベントや健康教育の場で保健師による健康教育等での啓発 ⑥実施医療機関等でポスター掲示。のぼりは活用せず、持ち帰られる啓発チラシの設置を行った。 ⑦乳幼児健診では受診案内同封は行わず、健診会場でポスターの掲示を行った																	
		2018年度				2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	最終目標	達成度											
実績/アウトプット目標	保健なんでも相談	年14回 154人参加	年13回 139人参加	年14回 129人参加	年11回 124人参加	年15回 139人参加	年15回 124人参加	実施内容検討	横ばい														
	広報掲載	年9回 (特定：2回、なんでも7回)	年9回 (特定：1回、なんでも8回)	年9回 (特定：1回、なんでも8回)	年9回 (特定：1回、なんでも8回)	年11回 (特定：1回、なんでも10回)	年11回 (特定：1回、なんでも10回)																
	広報折込みチラシ	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回																
	その他	・40歳到達者の検診通知に啓発チラシ同封 ・ホームページ掲載	・40歳到達者の検診通知に啓発チラシ同封 ・ホームページ掲載	・40歳到達者の検診通知に啓発チラシ同封 ・ホームページ掲載	・40歳到達者の検診通知に啓発チラシ同封 ・ホームページ掲載	・40歳到達者の検診通知に啓発チラシ同封 ・ホームページ掲載	・40歳到達者の検診通知に啓発チラシ同封 ・ホームページ掲載																
アウトカム	40歳到達者の健診受診率	29.1% (58人/199人)	19.5% (32人/164人)	21.8% (36人/165人)	29.6% (40人/135人)	26.7% (36人/135人)	25.2% (39人/155人)	40歳到達者の検診受診率：27.0%															
40歳到達者の健診受診率 <table><thead><tr><th>年度</th><th>健診受診率</th></tr></thead><tbody><tr><td>2018</td><td>29.1%</td></tr><tr><td>2019</td><td>19.5%</td></tr><tr><td>2020</td><td>21.8%</td></tr><tr><td>2021</td><td>29.6%</td></tr><tr><td>2022</td><td>26.7%</td></tr><tr><td>2023</td><td>25.2%</td></tr></tbody></table>										年度	健診受診率	2018	29.1%	2019	19.5%	2020	21.8%	2021	29.6%	2022	26.7%	2023	25.2%
年度	健診受診率																						
2018	29.1%																						
2019	19.5%																						
2020	21.8%																						
2021	29.6%																						
2022	26.7%																						
2023	25.2%																						
考評					今後の取り組みの方向性																		
継続的に啓発を行ったが、年度毎の受診率のばらつきが大きく、継続的な目標達成となっていない。若い世代によりアプローチできる媒体からの啓発が必要と考えられる。					これまでのチラシや広報等だけでなく、市公式LINEや、母子モ（母子アプリ）など若い世代が触れやすい媒体からの啓発を追加し、健診受診率向上に取り組みたい。																		